



IPM通信

2007年 vol.4

秋・冬号

編集・発行 / 有限会社 IPM
東京都墨田区江東橋 1-9-5
TEL03-5625-4425

ハープの故郷インドを訪ねて

ナマステー（こんにちは）

念願でありました、インドへナ農
場視察に10月16日～26日の間行っ
て参りました。

日本とインドを結ぶ航空会社は日
本航空とエアインディアの2社です
成田空港と関西空港からそれぞれ
デリーとムンバイへの便があり、成
田～デリー間はノンストップの直行
便があります。片道約8時間の行程
です。

インドはビザ（査証）入国許可
証が必要です。インド大使館に行っ
て手続きします。私が取得した日
は138人の方が来ていました。
インドの通貨はルピー。現在1
ルピーは約3円、ドル換算すると日
本円の1/5位です。但し経済情
勢が急速に変化しているため物
価上昇が激しくなり大都市のホ
テルは毎年10%～20%も値上がり
を続けており、そこにサービスが追
いつかない現状です。

予防接種は義務ではなくなりまし
たが、結構、虫はいます。私はジョ
ートブルの空港で注射針をさされた
時のような痛みの毒虫に刺されまし
た。それも最悪！手の届かない背中
を。これからインドへ行く方はどう
ぞ、ご用心を。

お国事情は民主主義が成立して
50年たっていますが、未だ貧富の差
は改善されていません。
50%以上の人達がスラムや路上生活
者です。人口は日本の約10倍の11億
人、国土は日本の約8倍もあります。

インド全体の子供で小学校を卒業
するのは4人に1人。子供の人口は
全世界の子供の人口の約20%と驚
くべき出生率です。赤ちゃんの生
存率の関係だと思えますが平均寿
命は65歳くらいだそうです。この状
態を変えて行くには一人一人の意識
を変える必要がある現状です。

片やインドはIT先進大国で中流以
上の人達は20%、国民の1/3の人
達は一日1ドル（約115円）で生活
しています。日本とは質の異なる格差
社会に遭遇し、カルチャーショックを
受けました。

ところが、出逢った多くの方々
がことごとくフレンドリーな差
しと、あたたかいもてなしに感激
しました。ヘナ農場でもインディ
ゴ農場でも手作りのお料理とデザ
ートで歓迎してくださいました。

日本は豊かな国になりましたが心
の貧しい人、愛情に飢えている人が
沢山いるのではないのでしょうか？物
質ではなく、心、精神的な問題の方
に留意しなくてはいけないのではな
いかと思います。

インドは家庭をとっても大切にしてい
ます。私たちが扱っているインドハー
プを活用し、スキンシップを通し、家
族のコミュニケーション、友人、地域
の方々との交流にお役に立てたらと思
います。

そしてインドの方々にも経済効果に
なればと、我が身も引き締まる気持ち
になりました。取引先の社長も今はテ
ナント工場ですが、早く自社工場を持
ちたいと語っておりました。少しでも
早く達成できるよう、私たちも尽力し
たいと思います。

ヘナ農場へ

ヘナ農場へ行くにはデリーから2時
間フライトして、ジョートブル空港に
おりたつのが近道です。ジョートブル
から車で片道2時間半ほどかかりませ
す。

11月は涼しい季節ですが、日中は40
もありました。暑い4月～5月は50
という酷暑の地、タール砂漠周辺の乾
燥地帯です。



その過酷な気候の中で朝から夕暮れ
までヘナの刈り入れをしている少女た
ちに逢いました。私も挑戦したのです
が、茎が硬くて刃がたちません。
ところが、彼女たちは華奢な体にも
かわからず、見事に一刀両断刈り取っ
ていました。いつも本当にご苦労様で
す。

ダンニヤワード（ありがとう）



刈ったヘナは小山にし天日干し、
それから広げて天日干し、3日程で
パリッと乾燥します。（湿度がなく
カラツとした気候）

ヘナ工場はデリーとの州境のカラ
ハリ州にあります。（現在デリーに
は国の政策で工場を造れません）将
来、デリーはハイクラスの人しか住
めないようになるそうです。これも
格差社会の現象なんではないですか。

工場には15人くらいの若い女の子
達が働いています。流れ作業で黙々
と働いていました。